

一般社団法人

日本女性科学者の会 NEWS

The Society of Japanese Women Scientists



No.132 2023.3

I. 会長挨拶

「無限生性・身心一如で進化し続けよう！ SJWS から正しい情報を発信しよう！」

一般社団法人 日本女性科学者の会 第 10 代会長 跡見 順子

SJWS主催事業のうち、毎年開催される新春シンポジウム及び隔年開催の学術大会と例会は各ブロック理事が持ち回りで開催をお世話します。昨年12月には九州ブロックによる学術大会、本年1月には北海道ブロックによる新春シンポジウムがいずれもオンライン開催され、多様性に富む本会の面目躍如を目の当たりにしました。前者では未来の女性科学者応援のための大学生・大学院生を含む若手への優秀発表賞、後者では所属大学のダイバーシティオフィスとの連携が印象的でした。また、本年は、本会会員による選挙管理委員会の皆様に支えられ、6つのブロック別のSJWS理事選挙が無事終了し新しい理事候補が選出されました。5月28日に開催予定のSJWS第10回定時会員総会における承認を経て、次の理事会が立ち上がります。2年後にまた選挙がありますが、そのときには会員の自主的な活動を代表する理事枠もできると良いと思います。SJWSは会員が活動する場であり、理事会はそれをバックアップするためにあります。この2年間はコロナ禍で、理事会は全てオンラインとなり、まだ直接お目にかかれていない方がいます。東北ブロックのように1年に1回は顔を合わせる交流会を復活させましょう。3月4日にはSJWS会員向けサイエンスカフェを開催します。

科学者には真実を掴もうとする透徹した目と行動力が必要です。しかし、真実をつかんでどこにつながるのでしょうか。天体の運行から物理学と数学が生まれ、宇宙の物質原理があきらかになり、宇宙に浮かぶ衛星によりGPSが使われ、今私たちは、自身はどこで何をしているのか、どこにいくのかが分かる時代に生きています。一方、そもそも自分とはどのような存在

なのか、100年を超える時間を「人間として」どう生きることがよいか、なぜ膝や腰が痛くなり歩けなくなってしまうのか等、私たちは科学で説明できるようになったのでしょうか。また、社会に世界に目を向ければ、戦争ゲームが現実のものになっており、人口減少、限られた情報のなかで、日本が消えて無くなりそうな不安を感じています。真理を追究する科学だけでは、この地球が生んだ驚異の宇宙・生命の知恵を万人に生かすことなどできない時代になっています。日本がうみだしてきた身体知恵も固有の文化も消え去ろうとしています。他ならぬ日本で育った女性科学者の知恵を様々な観点から生かす活動をSJWSから発信しませんか。



世界経済フォーラムのデータでは、日本の経済、政治部門における女性比率は156か国中117位、147位と低く、低いのが現状です。「小さなうち」に描かれた女性にも平塚らいてうの本にも、そして私自身の中にも『尊い命を預かる女性像』はありましたが、現実の社会を救う糸がないことが『コロナ』で判明しました。情報源を変えて世界を見直す目を構築中です。直立二足歩行により手に入れた大きな自由度のある身体に生きる『いのちある人間』の生存を保障する社会づくりの第一歩を会員の皆様と歩み出したいとおもいます。日本の風土が生んだ固有の身心一如の科学原理と技術の教育プログラムです。NEWSの場をお借りして、「身」を先端科学と生活の知恵で生かすプログラムの一端を次頁で紹介させていただきます。

理事監事名簿

【理事】小川 美香子、梅津 理恵、本間 美和子、山田 恵子、跡見 順子、板倉 明子、小杉 尚子、後藤 典子、近藤 科江、清水 美穂、武井 史恵、玉井 幸恵、野呂 知加子、長谷川 美貴、森 義仁、山本 眞由美、永澤 秀子、沼野 利佳、浜田 恵美子、岡村 恵美子、稲田 明理、川内 敬子、島田 緑、城崎 由紀、福原 正代、小川 由起子、廣瀬 理沙
【監事】大倉 多美子、宮本 霧子
【顧問】大野 茂男、丸岡 賢

目次

I. 会長挨拶	1
II. 2022年度「日本女性科学者の会 学術大会」報告	3
III. 2022年度「新春シンポジウム」報告	5
IV. 2022年度寄付金の報告	8

スジャース体操 (SJWS Gym) ~120歳まで

“自分の身体の実験科学者”として生きるための“臥位身心調律運動”

会長 跡見順子(78歳)の元気の奥義をお教えます。この臥位で行う体操は、拘縮しかけた身体の部位を減らし、それにより筋肉痛になりにくく身体の調律効果が得られ、日常生活活動動作がスムーズになり、実験他のスキルもアップし、なによりもうつ病になりがちな心の持ち方や身心への働きかけ効果を誘導します。PCやスマホ漬けの生活で背が丸まり、首が前につきでる「ストレートネック」が有意に解消され、日本再生のための「肚」を据えてモノゴトに取りかかる立ち居振る舞いが身につきます。最近の身体の物性(硬さ)が測れる超音波装置(エラストグラフィ)を借りて体幹をぐるっと横方向に深部(内臓側)で取り囲んでいる腹横筋をも強化できることもわかってきました。農工大工学部応用化学での授業でもこの調律運動効果を自身の身体を対象に評価していますが、「自分の身体を対象に実験する面白さ」をレポートに書いてくれています。

臥位は、本人の悪い癖が現れにくい姿勢です。臥位身心調律運動を通じて、「臥位」・「姿勢」・「触覚」・「人間」の発見ができます。活動を始める“朝”に、臥位で行うA~Fの体操(丹田~腹横筋/膝~足底/背筋~腹筋に意識的に働きかけて脳~骨格筋の“良い”連携回路をつくる)を行い立位での好い動き回路を目覚めさせましょう。

[第一段階] 床に体重を預け、両手で腹部を触り、触れた部分を押しします。押された部分下部の筋で反発=下部腹筋群(最深の腹横筋を意識)の収縮①から順番に⑨までゆっくり自分の体と対話します。[第二段階] 腹筋の緊張状態を維持しながら、背中の胸腰背筋群などの収縮・伸長を誘導し、拘縮しかかった部分を消失させる感覚を掴みましょう。[立位動作のコツ] Gは能や太極拳を行うときの基本姿勢です。揺れる電車の中でつり革をつかまらずにこの姿勢をとると、立位時の重心である臍下辺りが緊張してきます。腰を落として上半身重量を脚筋で支え続けながらゆっくりと移動する「カタ」を身につけることで、最初の1週間はわずかな筋肉痛が起きますが、適応でその後は痛みが起きなくなります。昔の日本家屋の畳みの生活では当たり前にご自身が身につけていたと思われる。

身体は、エネルギーを消費しながら自律性を維持している細胞と細胞たちが分泌した細胞外マトリックスから成ります。身体は、ロボットと違って、206個の骨をほぼ1000個の骨格筋が繋げて収縮させて動く冗長性が高い構造物で、かたちやはたらきを生み出しているのは、主に柔らかいタンパク質です。それ故、身体を120年間正しく動かし続けるのは大変難しく、膝や腰や肩や首などのコリや痛みを持っている人がほとんどですが、この体操で日々快適に過ごしていただけること間違いなしです。ぜひやってください。

スジャース体操

腹部スキャン
⑥④⑤
③①②
⑨⑦⑧

Transversus abdominis

腹横筋の伸長性収縮がコルセットのように体幹を支えて軸となる。

(A) 腹部スキャン: 両手で腹部を触り腹筋を収縮させる

基礎] 仰臥位で寝たまま、膝を屈曲する。この姿勢で、両手で腹部を触り、触った部位の腹筋を収縮させる(腹部スキャン)。腹部を下方から上方へ、右から左へと網羅的にスキャンする。慣れると下部では脚へ、上部では呼吸と連動して動くことがわかってくるので意識して連動させる。

(B) 腰椎を平らにする「コツ」(腰痛の予防と治療に)

1 仰向けに寝て膝を伸ばすと脊椎と床の間に空間ができる。つまり「S字カーブ」があることが分かる。
2 腰椎を床につけたまま大殿筋を収縮させると臀部が床から離れ、腰椎が平らになる(ことがわかる)。
3 「腰椎を床に圧迫」し続けながら、お尻の筋肉(大殿筋)を収縮させる(手で触るとお尻が硬くなり収縮していることが分かる(お尻の穴をすぼめる感覚)。するとお尻が床から離れる。ゆっくり「収縮」「弛緩(力を抜くとS字状カーブが戻る)」を交互に行うと腰椎を平らにする“コツ”がつかめる。尿漏れ防止効果がえられる。

(C) 膝のストレッチ

足指は握ったまま
片脚を床を滑らせながら屈曲しつつ近位に引き寄せた後、その足の踵を、床面を下方(つま先の方)に滑らせながら押し返す。その際足指を握り、足関節を背屈させたままゆっくり真直ぐに伸ばすことが肝心。脚筋群の等尺性収縮と膝のストレッチとなり、歩行時、膝が安定的に着地するようになる。膝痛の予防治療に。

(D) 足指・足底の活性化/足指のストレッチ(グー・チョキ・チョキ・パー伸)

グー 親指各向こう(足裏側)へ
チョキ 親指を手前
チョキ つま先を伸ばす
パー

(E) ハムストリング(大腿後部の筋群)のストレッチ

踵を背屈し、足指は握ったまま
片足ずつ股関節・膝関節を曲げて胸まで持ってゆきその状態で膝を伸展させてハムストリング(大腿背部の筋群)をストレッチ

(F) 臥位での肩/腕の付け根のストレッチ等)

背中央に丸めたタオルを置く
反対の腕を伸ばす。左右交互に行う
片方の手でみぞおちの辺り(⑦)を押し

(G) 能/太極拳の基本立位と電車トレーニング

腕は、体幹の筋の収縮で挙がるので、②あたりを指で押し、腹筋の反発収縮で支点を作り、反対の腕をボクシングの手の構え(左: 握った指の面を胸側に)で頭部方向に伸ばす。コンピュータや手作業などで肩がこる人に最適。四十肩等の予防に。
膝と股関節を軽く屈曲したまま上半身を垂直に維持してゆっくりと移動/動作する(揺れる電車で行うと体幹筋群の収縮で重心(丹田)の内受容感覚がうまれる)

- 2 -

第14回学術大会、オンライン開催報告

九州ブロック長 小川 由起子（長崎国際大学）

第14回学術大会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、オンライン開催としました。大会テーマは「多様性～研究の多様性、異文化交流～」とし、異分野共同研究、国際交流、国際ネットワーク構築を取り上げました。跡見順子会長の挨拶で始まり、内閣府男女共同参画局長 岡田恵子氏、文部科学省研究振興局ライフサイエンス課長 奥篤史氏にそれぞれご挨拶いただきました。特別講演では、九州工業大学大学院工学研究院准教授 城崎由紀先生から「女性研究者による学生を中心とした国際ネットワークの構築」と題して、国際ネットワークの構築を研究室の柱の一つと決められた経緯、学生を主体とした国際交流に関してのご講演、九州歯科大学歯学部生体材料学分野准教授 池田弘先生から「歯科におけるデジタル化と新規材料」と題して、歯科におけるデジタル化の背景と課題、そして最先端の歯科材料、エナメル質や象牙質の力学的性質を模倣した新規歯科材料についてご講演いただきました。一般学術発表20演題についてもzoomの機能を用いたオンラインのwebポスター発表といたしました。また、若手研究者の飛躍につながるよう学生優秀発表賞を設立しました。どちらも初めての試みでしたが、これからは課題を抽出し、改良・改善を繰り返すことで、今後の学術講演の形式の一つとなればと思います。また、SJWSならではの多岐にわたる分野での意見交換の必要性を鑑み、事前登録制としたうえで、会員、非会員に関係なく広く一般の方々にもご参加いただきました。その結果、52名の方たちに参加いただけました。皆様のおかげで有意義な議論、意見交換ができ、盛況裡に終了することができました。講師の方々、発表者、参加者のみなさまのご協力に改めて感謝申し上げます。



運営担当と特別講演を終えて

九州ブロック理事 城崎 由紀（九州工業大学）

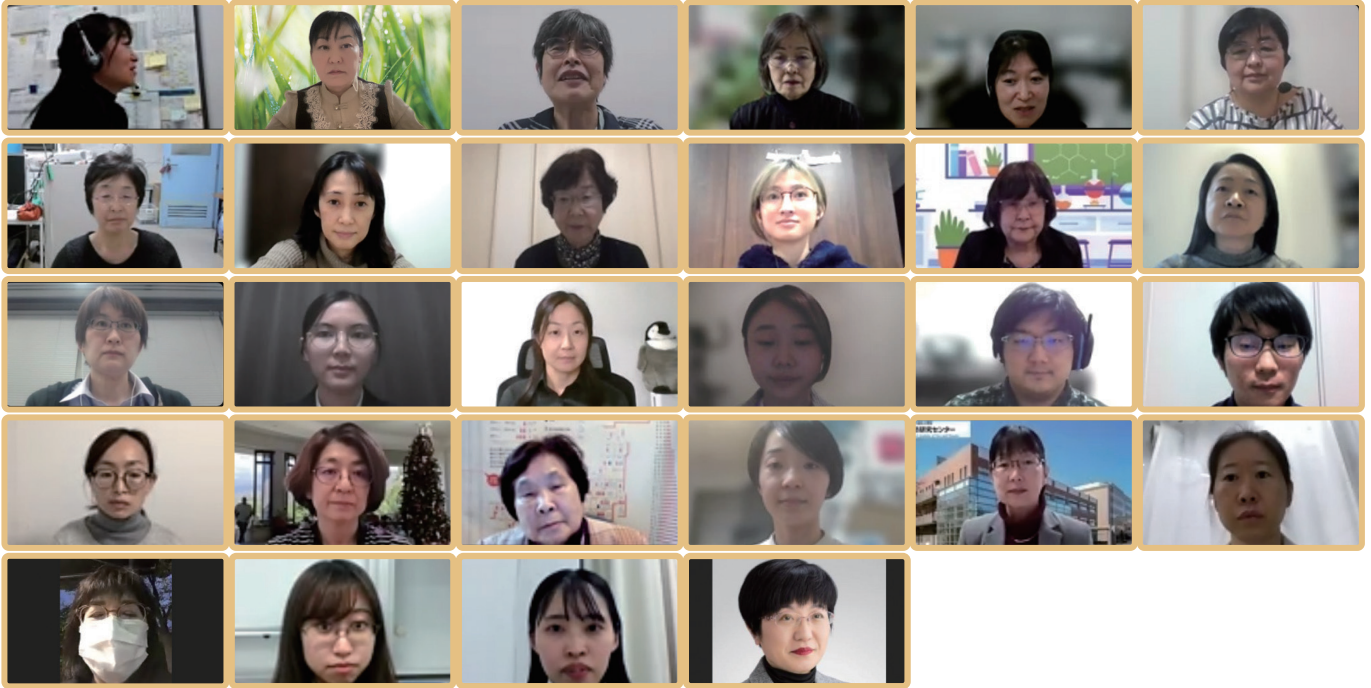
九州ブロック理事として、主催行事を担当するのは2度目です。当初は現地での開催を予定していましたので、特別講演としてお話することにもなりました。前回担当した2019年度の例会・新春シンポジウムの開催は2020年1月12日でしたが、多くの方に北九州まで足をお運びいただき、当研究室男子学生も参加し、懇親会も大変盛り上がったと記憶しています。その数ヶ月後に、コロナウイルスという脅威に世界が晒されるとは、誰が予想できたでしょうか。今回の学術大会も北九州にお集まりいただくのを楽しみにしていましたが、Zoomを用いたオンラインでの開催となりました。特にオンラインでのポスター発表は、慣れていない方にとっては時間内での議論は難しかったかもしれません。



私自身が学会発表でのオンライン発表を初めて目にしたのは2013年頃です。国際学会で特別講演の先生がskypeを使用してお話されているのを見て、当時の私は「いずれ現地に行けないことを理由に発表を断ることができなくなるのだな」と思っていました。そこから10年が経ちコロナ禍を経て、現役大学生にとってはオンライン発表が通常の発表形式で、現地での対面発表を新鮮に感じるそうです。

特別講演の中で、さくらサイエンスを利用したコロナ禍でのオンライン国際交流活動について少し紹介しました。講演中にはお話しませんでした。コロナ禍前に対面での交流があった学生を含む1年目の活動はオンラインであっても大変上手く交流活動ができました。2年目は、学生からの要望で自身の分身となるアバターを使ってバーチャル空間でより活動できるプラットフォームに変更しましたが、1年目より学生間の交流は薄れていたと感じています。今後は対面/オンラインを上手く組み合わせた形で、本会会員の交流活動が深まっていくことを期待しています。

日本女性科学者の会 第14回学術大会が、九州ブロックの小川由起子理事、福原正代理事、城崎由紀理事により、2023年12月4日(日) 13:00～オンラインにて以下のようなプログラムにて開催されました。一般学術発表では、特に若手の先生を含め闊達な議論が繰り広げられ、城崎 由紀先生と池田 弘先生にご講演をいただきました。



歯科治療と歯科材料

池田 弘先生



国際的な学生を育てる為に



城崎 由紀先生



- 01 研究の基本
毎朝の勉強会
- 02 オンライン
研究室運営のオンライン化
- 03 さくらサイエンス
海外学生との短期集中活動
運営能力の習得
- 04 短期海外研修・国際学会での発表
大学・学科による短期海外派遣プログラム
国際学会での口頭発表
- 05 中長期海外研究活動
共同研究先での研究活動 (3ヶ月以上)

プログラム

テーマ：多様性～研究の多様性，異文化交流～

司会：福原 正代理事（九州歯科大学・SJWS理事）

【開会】

開催挨拶：日本女性科学者の会 会長 跡見 順子 先生

来賓挨拶：内閣府男女共同参画局局长 岡田 恵子 氏

来賓挨拶：文部科学省研究振興局ライフサイエンス課長 奥 篤史 氏

【一般学術発表】

座長：小川 由起子 先生（長崎国際大学・SJWS理事）

20題の学生発表演題のショートプレゼンテーション&ポスターセッション

【特別講演】座長：福原 正代 先生

1. 女性研究者による学生を中心とした国際ネットワークの構築

城崎 由紀 先生（九州工業大学大学院工学研究院・SJWS理事）

2. 歯科におけるデジタル化と新規材料

池田 弘 先生（九州歯科大学歯学部生体材料学分野）

【表彰式】担当：小川 由起子 先生

学生優秀発表賞と若手研究者特別賞受賞者は以下の皆さまです。おめでとうございます。

【学生優秀発表賞】（敬称略）

- ・ NG SIN YING（東京工業大学）結合親和性の異なるCD25標的CAR-T細胞の活性化と疲弊レベルの評価
- ・ 矢野七虹（神戸大学）発現組織から考察するホヤグロビン遺伝子の役割
- ・ Kaysa Faradis Mahira（Tokyo University of Agriculture and Technology）
The Role of Oxysterol-Binding Protein-Related Family proteins in the Anticancer Activity of Steroidal Saponin OSW-1
- ・ 鈴木 美裕（長崎国際大学）凝集誘起発光性化合物による癌の光線力学療法
- ・ 川内 紗英（兵庫県立大学）日常ストレス状態のモニターに向けたNIR顕微鏡による毛髪解析
- ・ 月生 雅也（甲南大学）グアニン四重らせん構造による転移因子LINE-1の発現抑制

【若手研究者特別賞】（敬称略）

- ・ 成田 麻未（名古屋工業大学）徐冷焼入れによる高強度構造用アルミニウム合金の微視組織制御

Ⅲ. 2022年度「新春シンポジウム」報告

日本女性科学者の会 新春シンポジウム2023開催報告

北海道ブロック長 小川 美香子（北海道大学大学院薬学研究院）

2023年1月にオンライン開催にて新春シンポジウム2023を開催致しました。今回は2部構成とし、第一部は「女性研究者ロールモデル講演会“視座を高め、キャリアのNEXT STEPへ”」と題し、北海道大学ダイバーシティ・インクルージョン推進本部との共催で開催し、第二部は学術講演会としました。跡見会長の開会挨拶の後、内閣府男女共同参画局長・岡田恵子氏、内閣府科学技術・イノベーション推進事務局長・松尾泰樹氏に来賓挨拶を頂きました。第一部はSJWS会員の樋田京子先生の司会により、北海道大学ダイバーシティ・インクルージョン推進本部、長堀紀子先生から北海道大学における女性研究者育成支援の取り組みについてご紹介いただき、その後、北海道大学大学院歯学研究院にて出産後も精力的に研究をされている間石奈湖先生から、女性研究者が子育てしながら研究を続ける難しさ、楽しさをお話しいただきました。その後、特別講演として、米国ハーバード大学医学部・助教授／同大付属マサチューセッツ総合病院小児うつセンター長の内田舞先生から、「子どものこころの脳科学～偏見に打ち勝つ科学のアドボカシー」と題し、特別講演をいただきました。バイタリティにあふれる内田先生のご講演に、参加者の皆様は大きく感銘を受けられたと思います。第二部は、SJWS会員の岡松優子先生に司会により、まず、依頼講演として第一三共株式会社の小泉誠先生に核酸医薬品の創薬研究についてお話いただいた後、SJWS会員の紙谷尚子先生と薬師寺文華先生から最新のご研究についてお話いただきました。特別講演は樋田京子先生にお願いし、「血管とがんの悪性化」というタイトルで、緻密な実験とエビデンスに基づいた最先端の癌研究についてお話いただきました。70名を超える方にご参加いただきましたことを厚くお礼申し上げますとともに、本会の運営にご協力いただきました北海道ブロックの会員にも深く感謝申し上げます。

日本女性科学者の会 新春シンポジウム2023が、北海道ブロックの小川 美香子理事により、オンラインにて以下のようなプログラムにて開催されました。

数多くの特別講演、依頼講演にて、豊富な知識を得て、意見交換が行われた充実した1日でした。

プログラム

総合司会：小川 美香子 先生（北海道大学大学院薬学研究院教授・SJWS理事・北海道ブロック長）

開会挨拶：跡見 順子先生（SJWS会長、農工大大学院工学府客員教授）

来賓挨拶：岡田 恵子 氏（内閣府男女共同参画局長）

松尾 泰樹 氏（内閣府科学技術・イノベーション推進事務局長）

【第一部】女性研究者ロールモデル講演会 “視座を高め、キャリアのNEXT STEPへ”

共催：北海道大学ダイバーシティ・インクルージョン推進本部

司会：樋田 京子 先生（北海道大学大学院歯学研究院教授・SJWS会員）

「北海道大学における女性研究者育成支援の取り組み」

長堀 紀子 先生（北海道大学ダイバーシティ・インクルージョン推進本部特任教授/SJWS会員）

「女性研究者が子育てしながら研究を続けるということ」

間石 奈湖 先生（北海道大学大学院歯学研究院助教）

特別講演：「子どものこころの脳科学～偏見に打ち勝つ科学のアドボカシー」

内田 舞 先生（米ハーバード大学医学部助教授／

同大学付属マサチューセッツ総合病院（MGH）小児うつセンター長）

【第二部】学術講演会

司会：岡松 優子 先生（北海道大学大学院獣医学研究院准教授・SJWS会員）

依頼講演：小泉 誠 先生（第一三共株式会社モダリティ研究所・日本核酸医薬学会）

「遺伝子疾患に対する核酸医薬品の創薬研究」

紙谷 尚子 先生（北海道大学遺伝子病制御研究所准教授・SJWS会員）

「ピロリ菌と胃がん発症」

薬師寺 文華 先生（北海道大学大学院薬学研究院准教授・SJWS会員）

「ヒストンメチル化酵素複合体を標的としたケミカルエピジェネティクス研究」

特別講演：樋田 京子 先生（北海道大学大学院歯学研究院教授・SJWS会員）

「血管とがんの悪性化」

閉会挨拶：跡見順子 先生

一般社団法人日本女性科学者の会(SJWS) 新春シンポジウム2023

開会挨拶：跡見会長

来賓挨拶：岡田恵子氏

来賓挨拶：松尾泰樹氏

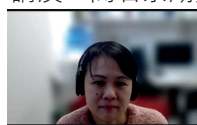


第一部 女性研究者ロールモデル講演会 “視座を高め、キャリアのNEXT STEPへ”

共催：北海道大学ダイバーシティ・インクルージョン推進本部

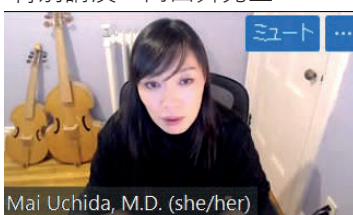
講演：長堀紀子先生

講演：間石奈湖先生



司会：樋田京子先生

特別講演：内田舞先生



第二部 学術講演会

司会：岡松優子先生

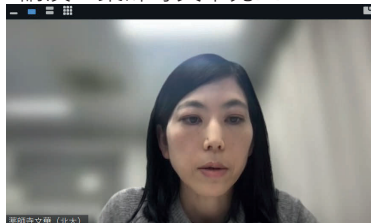
依頼講演：小泉誠先生



講演：紙谷尚子先生



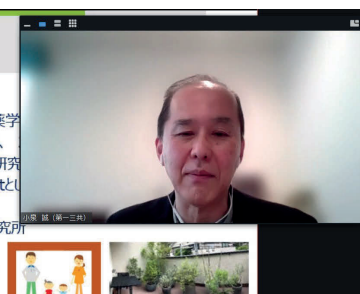
講演：薬師寺文華先生



自己紹介

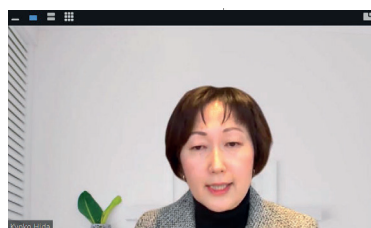
小泉 誠 (こいずみ まこと)
 1991年 北海道大学大学院薬学研究科修士 薬学
 遺伝子有機化学講座 (大塚栄子教授)
 1991年 三共株式会社入社 バイオサイエンス研究
 1997-1999年 Yale Univ. visiting scientistとして
 2007年 第一三共株式会社
 2017年~現在 第一三共株式会社 モデルイノベーション研究所

最近良いと思っていることは...家族写真など



日本女性科学者の会(SJWS) 新春シンポジウム2023 特別講演 (オンライン)

特別講演：樋田京子先生



血管とがんの悪性化



旧北海道庁 札幌市庁より
 北海道大学大学院歯学研究院 血管生物分子病理学
 樋田京子

Ⅳ. 2022 年度寄附金の報告

次世代の女性科学者のために、日本女性研究者の会に、2021年度の2月から2022年度の1月末の時点で、皆さまからいただいた寄附金について報告します。皆様の深いご理解とご協力に感謝し、厚く御礼申し上げるとともに、今後とも、何卒、日本女性研究者の会をよろしく願いいたします。

ご芳名（アイウエオ順）とメッセージ

跡見 順子様・清水 美穂様（連名）会員による勉強会活動等推進のために。

阿部 道子様 日本女性科学者の会のより一層の発展を祈念いたします。

大島 範子様 女性研究者のますますの活躍を願っています。

水野 素子様 女性の活躍推進を応援しています。

安川 雪子様 まずは今の環境でベストを尽くしましょう。

チャンスが来たらいつでもチャレンジできるように、常にアンテナを張っていきましょう。

すぐにチャレンジできるように、エンジンはオフではなく、アイドリング状態でいきましょう。

そして勇気を出してチャレンジしましょう！

ご芳名（アイウエオ順）

荒谷 美智様、大倉 多美子様、大谷 直子様、小磯 晴代様、谷本 さとみ様、小林 祥子様、

佐藤 久子様、諏訪 佳子様、仙洞田 洋子様、田崎 和江様、宮城 妙子様

※尚、記載不可の方のお名前は掲載しておりません。

事務局からのお知らせ

『日本女性科学者の会』の新ホームページについて



『日本女性科学者の会』のホームページが2022年10月13日に、お披露目会も盛大に催され、リニューアルされました。組織の紹介やお知らせはもちろん、提言、要望書、イベント、刊行物、公募などの情報もございます。刊行物のページには、日本女性科学者の会 学術誌、SJWS NEWSなど、ご覧いただけます。

また、会員のページには会員紹介、ロールモデル集、SJWS会員が幅広いサイエンスコミュニケーション活動を行なえるような認証制度サイエンス・コミュニケーターについて紹介いたしております。

ぜひ、ご覧ください。

<https://sjws.or.jp/>



編集：沼野 利佳・森 義仁・小杉 尚子・玉井 幸恵・小川 美香子・廣瀬 理沙

発行所：一般社団法人 日本女性科学者の会 ©

事務局：〒184-8588 東京都小金井市中町 2-24-16 先端科学実験棟 205

東京農工大学 工学府 材料健康科学寄附講座内

TEL/FAX 042-388-7539 E-mail: sjws-office@sjws.info